

# 検討の進め方について（案）

資料 4

交通政策審議会答申

## 可能な限り利用者によりタクシーが選択される環境を整備する必要

例えば…

利用者が自らの携帯電話を通じて好みのタクシー事業者やタクシー運転者を随時選択できるようなIT等最新の技術を駆使したシステムの導入

事業者や運転者のサービス水準等に関する評価制度(ランク制度)等は、より良質なサービスを受けたいと思う利用者にとって一助となる

まず、考えるべきは…

### 利用者は、どのようなタクシーを選びたいと考えているか。

例えば、以下のようなことが乗車前にわかるような仕組みなど

- 地理をよく知っている
- 接客がよい
- 安全な運転をしてくれる 等

合わせて、下記も実施

利用者の意向調査  
(アンケート)

事業者の意向調査(アンケート)  
関係団体の意向調査(ヒアリング)

その上で、タクシー利用者のニーズを大きく2つに分けて検討

### 利用者の多様なニーズに対応した タクシー輸送サービス

現在提供されている  
多様なサービスを踏まえた上で…

#### 多様なサービスの普及方策の検討

- 提供されるべき具体的なサービスの内容
- 事業者が利用者ニーズに応じたサービスを提供するために必要な(または望ましい)環境づくりのあり方
- 多様なサービスが適切に活用されるための利用者に対する適切な情報提供のあり方

具体的な普及方策

### 通常のタクシー輸送サービス

現在運営されている  
評価制度を踏まえた上で…

- ・東京タクシーセンター  
「法人タクシー事業者のサービス等に関するランク評価」
- ・全国個人タクシー協会  
「優良個人タクシー事業者認定制度」等

#### 評価制度(ランク制度)の検討

- 利用者による選択性の向上に資する評価制度の枠組みのあり方

(検討事項)  
【評価項目】【実施主体】【利用者周知の方策】等

モデル案

本委員会における調査・検討

利用者から見て「分かりやすく」「使いやすい」タクシーサービスへ